

葉色カースケールを利用した 飼料用オオムギの収穫適期判断法

目的と特徴

- ・飼料用オオムギをダイレクト収穫する場合の収穫適期を葉色で判断する方法です。
- ・水稲用「葉色カースケール」を利用します。
- ・最上位葉である「止葉」の中央部をカースケールと比較して、測定値の平均が6～6.5程度になると水分含量は70%程度となり、ダイレクト収穫の適期と判断できます。

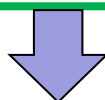
飼料用オオムギのダイレクト収穫の適期は、 地上部(穂+茎葉)の水分が、70%程度まで低下した時期



シュンライ



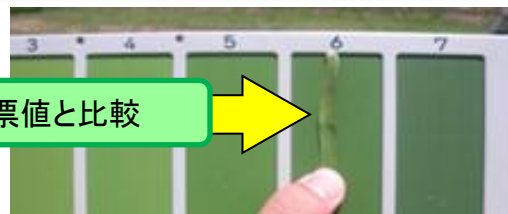
ワセドリ2条



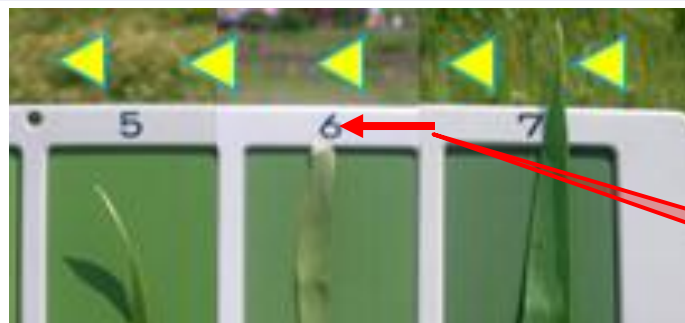
水稲用カースケールで簡易に収穫適期を判定



止葉を葉色カースケールの色票値と比較



葉の中央部をカースケールの色票のスジ目に合わせます
1圃場で3ヶ所以上(各10本以上)調べて、平均値を求めます



収穫適期

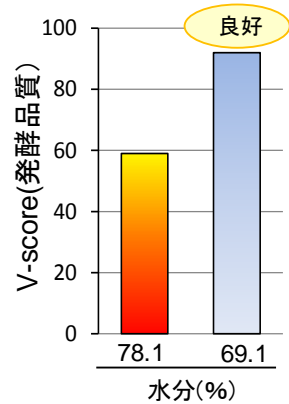
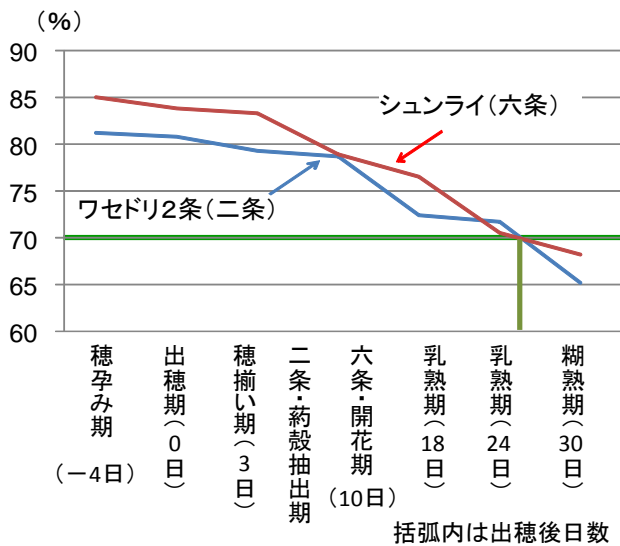
測定値の平均が6.5になると水分含量は70%程度まで低下

成果

- ・出穂期後約3週間(乳熟期)から葉色の低下が始まります。
- ・乳熟期以降にカースケールを用いることで、現場で簡易に収穫適期を判断できます。
- ・適期収穫を逃しにくくなるとともに、収穫作業計画も立てやすくなります。

飼料用オオムギの水分含量推移と収穫適期

地上部(穂+茎葉)の水分は、登熟が進むと低下

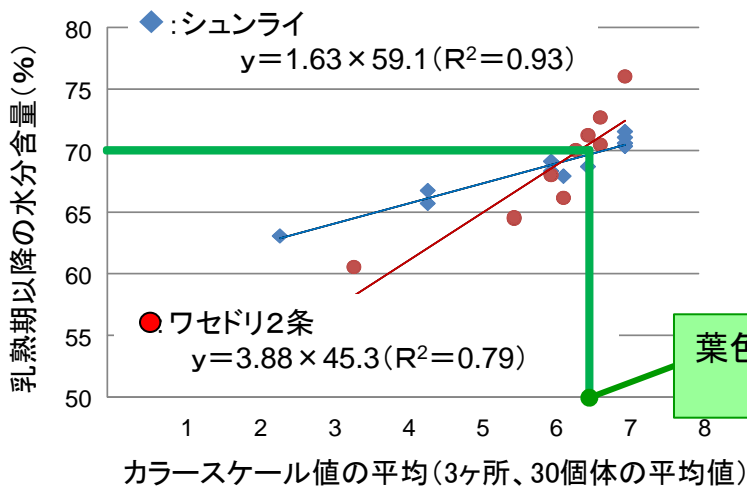


水分含量と発酵品質

・出穂から約4週間(糊熟期)で水分は70%程度まで低下し、その時期に収穫調製したサイレージは良好な発酵品質となる

水分含量と止葉色の測定値との関係

○ 葉色カースケールの止葉測定値の平均と水分含量には高い相関



葉色カースケールの測定値が6.5になると、水分含量は70%程度まで低下する

対象作物、普及対象

- ・飼料用オオムギ、南東北以南

対象農家

- ・飼料用オオムギ栽培農家、飼料用オオムギの収穫調製コントラクター

必要な道具

- ・葉色カースケール(水稻用)

関連HP

<http://www.pref.gunma.jp/O6/f0100294.html>

その他

- ・登熟期間は地域で異なり、低肥料栽培は薄色のまま推移する傾向があります。
- ・カースケール値と水分との解析は、堆肥2~3 t/10aと化成肥料(窒素で3kg/10a)および化成肥料のみ(窒素で6kg/10a)を施用した栽培圃場での結果であり、施肥量(窒素量)によって止葉の葉色に濃淡が生じる場合があります。
- ・糊熟期以降は枯れ上がりが早いので、収穫適期確認後は短期間で収穫を終えて下さい。